

# 八雲

第52号  
(平成27年9月発行)



(写真:平成27年7月26日 松江市営球場)

## 大東高校校歌

- 一、勝田の森の奥深く  
文の林に分け入りて  
学びの花を摘まんな  
袂の花のほこらひに  
我が青春は謳うべし
- 二、夕影たかく秋深き  
織部の山に風かよふ  
かの夕づつの訪おとひを  
返らぬ夢ときくなれば  
手をとりていざ共に哭け
- 三、理想の洋は遙うみかなり  
真理の道の遠ければ  
あゝ、カルデアの牧人が  
尋ねし星を今更に  
中天高くよまんとす
- 四、東天高く曙の  
光は走る今にして  
平和の鐘のひびくとき  
自由と愛の舵をとり  
いざ大瀛だいていに棹さゝん



## 「創立百周年」に向けて

八雲会会長

安原重隆

野球部が甲子園へあと一歩、感動！感激！手に汗握る10日間でした。選手の活躍は素晴らしく、立派でした。

近隣の皆さまはもとより全国各地の卒業生からの声援が渦巻き、母校への思いが各地で爆発していました。その声援にも感動です。共にさらなる奮闘を祈りたいと思います。立派なのは野球部のみならず、全校生徒が部活・学業に励んでおり学校全体が充実しています。学校へ行くと元気のいい挨拶が飛んできます。愛すべきは我らが母校大東高校です。

さて、大東高校は平成30年に「創立百周年」を迎えます。

歴史をひもとくと大正8年に農学校（略称）として創立され、昭和4年から女学校（略称）になり、昭和23年から今の高等学校になっています。農学校時代は1学年23～44名で、女学校時代は1学年約40～60名位で、末期の数年間は120名位になっています。

農学校卒は今健在なら100才以上で、往年地域のリーダーであった人を私はよく存じ上げています。女学校卒は今80歳以上で、この人たちのお話は悲惨な戦争の記憶と重なっています。

現在卒業生は約13,000名、全国各地でご活躍中です。すべての卒業生に高校時代の語りつくせぬ体験があり、それらを含めて長い歴史と重みを持つ大東高校であります。

これまでほぼ10年ごとに記念事業等が行われており、次は「百周年」に向けての準備をすることになりました。卒業生会・部活動後援会・PTA・大東高校で「実行委員会」を組織し、鋭意協議を重ねています。

知力も財力もない私ですが、誠心誠意この大事業を成功させたいと願い努力しています。その中で当面の課題が募金活動であります。母校への恩返し、いま学業に励んでいる生徒たちのため、また今後の発展のためご理解をいただきますようお願い申し上げます。

なお一言お礼を申し上げます。昨年度から一般会計予算の収入対策として、寄付金を募りました。機関誌「八雲」でもお願いしたところ、224名（別紙）から786,000円が、遠くは北海道や九州から寄せられました。自ら振り込んでいただいた行為は「母校愛」そのものです。感謝に耐えません。ありがとうございました。

近況報告とお願いとお礼を申し上げご挨拶とさせていただきます。



## 八雲会会員の皆様へ

校長 今井 靖

酷暑の夏も盆を過ぎると朝夕がめっきり涼しくなり、秋の気配を感じさせるようになって参りました。八雲会会員の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃より大東高校の教育活動に対してご支援をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

私は、この4月より新しく校長として着任しました今井です。どうぞ、よろしくお願いいたします。大東高校での勤務は初めてとなりますが、教職員と一体になって生徒の皆さんを支援する、「チーム大東」をつくっていきたいと思います。そして、生徒たちが安心・安全に学校生活を送りながら、自分の夢を叶えることのできる学校をつくろうと考えています。また、中学校や雲南市と連携を取らせていただきながら、地域に根ざした学校づくりも進めていこうと考えております。

6月の八雲会関東支部会には出席できませんでしたが、7月の広島支部会に出席させていただきました。これから各地の卒業生会に出席させていただき、卒業生の皆様にご挨拶をさせていただこうと考えております。どうかよろしくお願いいたします。

今年の夏は、高校野球の熱い戦いで始まりました。7月18日の隠岐高校との初戦から、松江南高校、松江北高校を次々と破り勝ち上がっていきました。そして、26日の準決勝では、出雲商業に1-0で勝ち昨年の雪辱を果たし、初めて決勝に駒を進めることができました。決勝戦では、保護者の皆様、野球部保護者、卒業生の皆様、野球部OB会の皆様をはじめ大東高校野球部を応援して下さる多数の皆様に応援をいただきました。結果は残念ながら準優勝となりましたが、嶽野監督の指導の下、選手は本当に全力を挙げてチーム一丸となって奮闘し、「大東高校ここにあり」という意気を示してくれたと思います。スタンドでは、本校生徒も吹奏楽部の演奏のもと、全校応援で選手に声援を送りました。試合開始直後から小雨が降りましたが、そのようなことはものともせず、精一杯の応援をしました。全校で一喜一憂しながら、一生懸命応援したことは、生徒それぞれの一生の思い出となったと思います。これから、1、2年生が3年生の思いを受け継ぎ、早速来年春の選抜に向けてスタートをしております。今後とも、大東高校野球部に注目をしていただければと思っております。

野球部も活躍しましたが、今年は部活動、進路実績それぞれに成果が出ており、学校全体に勢いを感じています。まず部活動では、6月に行われました高校総体で、男子がBグループで総合優勝、男女総合では第3位という良い結果をあげることができました。男子バレーボール2位、女子ソフトボール2位をはじめ各部が一生懸命頑張った結果であると思っております。学習とその成果の進路目標の達成では、この春の卒業生は132名おりましたが、国公立大学合格者23名、就職者17名、私立大学や短大、専門学校への進学者90名という状況でした。島根大学を中心に中国地方の大学へ多くが進学しており、就職は県内がほとんどです。生徒数が減少し、3年生119名、2年生114名でそれぞれ4クラスずつ、1年生は107名で、今年から1クラス減となり3クラスという状況の中で、学習にも、部活動にも大東高校生は一生懸命頑張っております。

最後になりましたが、卒業生が1万3千名を超えた大東高校は、平成30年に創立百周年を迎えることとなりました。百年という記念すべき節目にあたり、「校史」の編纂をはじめ、祝賀式典等様々な事業を卒業生の皆様を中心に計画しております。これまで以上に地域とつながる学校として、優れた人材の育成に努めていきたいと考えております。今後とも、大東高校の教育活動にご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 平成27年度 八雲会総会

平成27年度の八雲会総会を7月11日（土）に、51名出席のもと大東地域交流センター研修室において開催しました。茶道部によるお点前と吹奏楽部による演奏が総会の前に披露されました。総会では、会長・校長挨拶のあと議事に入り、平成26年度事業報告及び決算報告、平成27年度事業計画及び予算書等について報告がありました。その後県外支部総会の報告、内田克士氏（高12期）によるマジックショーがあり、懇親会となりました。

総会は毎年7月の第2土曜日に開催することになっています。来年度さらに多くの方に参加していただけることを願っています。



## 関西支部会

事務局 高橋 潮

平成26年度の関西支部総会は、年度末の3月14日、新大阪駅前のニューオーサカホテルで開催。支部会員195名に案内をしたが、参加者は2割にも満たない32名。寂しい集まりを心配していた。でも、本部から金築副会長（14期）・奥井校長先生・成相先生（33期）にお越しいただき、会は盛り上がった。

広木支部長（16期）は、挨拶のなかで、「古事記にある八雲」について解説、「神々しい名称である」ことをアピール。また、「楽天の福山の活躍ぶり」や「山中剣道範士八段の健闘ぶり」、この日出席された

「芦田画伯の画展の様子」などを紹介、明るい話で総会は始まった。

母校の現状については、校長先生と成相先生から報告があり、「生徒の進路状況」や「活発な部活動」について、頼もしい生徒達の様子を知り、安心したり、喜んだり。特に、野球部の健闘ぶり、開星高校との接戦模様の話には、聞くほうも熱が入り、興奮気味のはるか昔の元野球部員もいた。一方、「少子化現象」は、学校の経営にも影響を及ぼしつつあることを知らされ、3年後の100周年記念日まで我が母校は大丈夫かな、との心配性の人もいた。

懇親会は、いつも元気な渡部富在さん（11期）の司会で始まった。食べながら飲みながら談笑しつつ交流を深めることが目的の懇親会であり、ゆっくと進行して行った。いつものパターンで校歌斉唱は、八十路を元気で歩む4人の淑女（九鬼・今里・江草・矢野さん）による合唱。少し若い我々も、♪～織部の山に風かよふ～と、だみ声を発して加わった。司会者の巧みなインタビューで、自己紹介



や近況報告、高校時代の思い出など数人から発言していただき、和気アイアイの中で懇親は深まって行った。

昨年の大晦日、NHKの紅白で水森かおりが歌った

「島根恋旅」を金築副会長から披露され拍手喝采。アカペラで3番まで全部唄われ驚きやら称賛の声も。

最後に近畿大東会会長の景山幹男さん(19期)の万歳三唱で幕を閉じた。

## 関東支部会

高36期 吉木 節

2015年6月20日、「銀蔵 数寄屋橋店」にて今年の八雲会関東支部会が開催されました。八雲会から景山副会長、部活動後援会の藤原会長、母校から飯塚教頭先生をお迎えし、関東在住の方は16名で計19名が参加されました。鏝木支部長の開会挨拶に続き、学校の様子や部活動成績のご紹介、百周年記念事業概要のご説明などがあり、その後、歓談、自己紹介など和気藹藹、笑顔一杯で進行していきました。終了後は多くの方が二次会に参加され、互いの近況や野球部の話などで盛り上がりました。

私は、東京で就職し25年以上経ちましたが、今回、初参加でやや緊張しました。もう少し若い方が多いと、なお良かったと思います。関東在住の卒業生のみならず、来年はぜひ参加してみてください。

私事で恐縮ですが、この会で、英語と部活動で大変お世話になった恩師が最近亡くなられたことを知り、驚き、とても残念に思いました。毎年近況報告をしていましたが、石見にお住まいで長らくお会いできず、すぐに休暇をとり墓参に伺いました。いつもプラス思考で人生における出会いは素晴らしい、とよく仰っていました。この会で訃報を聞くことになっていたように感じます。

関東で入手できる母校の情報はかなり限られますが、体育部、文化部とも活発で好成績を収めているとのこと嬉しく思います。吹奏楽部は県コンクー



ルでの銀賞受賞おめでとうございます。野球部はこの夏も大活躍でした。連続コールド勝ちに続き投手戦を制しての決勝進出、強いです。こちらではテレビ中継がないため決勝当日もあきらめて出社し、自席でインターネット速報を常にチェック。先制点、追加点が入った時は思わず拳を握りしめていました。各回の攻撃が終わらないと点が更新されないため、相手チームの攻撃が長いと大量点が入っているのでは…と仕事が手につかなくなりました。優勝はできませんでしたが、中盤に迫り上げる素晴らしい試合でした。大応援団も一体となっていたそうですね。私立が生徒を広く集めて強化するのに対し、地元の生徒が殆どの公立大東の躍進。本当にすごいです。多くの卒業生も同じだと思いますが、私も大いに元気をもらいました。来年の夏こそ、選手たちが甲子園の土を踏めることを願っています。

## 広島支部会

広島支部長 佐藤 眞

八雲会広島支部は、平成27年度の総会を7月18日(土)八雲会本部から安原重隆会長、今井靖副会長(大東高等学校校長)及び藤原淳部活後援会会長をお迎えし、広島市南区のホテルニューヒロデンに於いて開催しました。

当日は5名の方が急用等で急遽欠席となりましたが、初参加の2名を含め19名が出席しました。

佐藤眞事務局長の司会で総会が始まり、佐藤和紀支部長から開会にあたり「本日皆さんには、暑いところ元気で出席頂き、今年もまたお会いできて嬉し

く思うと同時に感謝申し上げる。引き続き広島支部活性化のためより一層のご協力をお願い申し上げます。」との挨拶がありました。

続いて安原会長、今井校長先生、藤原部活後援会会長にそれぞれ挨拶頂き、皆様から年々生徒が減少する中での八雲会運営状況、寄付金を始めた経緯とお願い、百周年実行委員会の動向、学校の近況報告、部活活動の報告、特に野球部の活躍により大東全体が燃え上がっている等のお話を頂きました。

また、本校の生徒は礼儀深くどこにいてもきちっ



と挨拶が出来、地域の皆様から大変愛されている。とのことで私たち卒業生も大変誇らしく感じながらお聞きしました。

支部会計の報告の後、広島支部の役員改選で長年広島支部の創生期から同支部を盛り上げ引っ張って頂いた佐藤和紀支部長が退任され顧問に、後任の支部長に佐藤眞事務局局長が就任する案が満場一致で可決されました。また併せて、今後広島支部の運営を司る幹事会の設置も承認されました。

毎年お元気で出席頂いている富久顧問の乾杯の音頭で懇親会に入り、久しぶりの出会いで賑やかに会話が進み、お互いの近況を確かめ合いました。

校歌、応援歌、壮行歌が歌われるなか、瞬く間に時間は過ぎ、司会者の二次会の案内で、17期の黒川陽右さんが、「来年はこの会の出席者をぜひ倍にしましょう。そして必ずお会いしましょう」と再会を約束し力強く中締めしました。大多数の方に同ホテルでの二次会に参加頂き、藤原部活後援会会長の巧みな司会により会場はさらに盛り上がり皆さん、自慢のどを披露し、賑やかで和やかな雰囲気の中で支部総会が終わりました。

来年も盛会に開催することを約束し散会しましたが、広島支部も会員の高齢化という問題に直面しています。本日の参加者でも、最も若い方が高55期、次に若い方が高21期なんと34年の隔絶がありました。また参加者も固定化し毎年、年を取っていきます。このままでは広島支部は消滅してしまいます。この状況を何とか打破するためこの度設置した幹事会を中心にアクションを打っていきたいと思っています。校長先生からも「卒業生に対し、最寄りの支部に入会するよう強く働きかけます。」との力強いお言葉を頂いております。本部、支部会員の皆様の協力を頂きながら頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## ◆◆ おりべ5期の会 2015 ◆◆

**高**校第5期卒業生同窓会、愛称「おりべ5期の会」（代表・蓮岡法障）の2015年会を6月15日～16日、会員25名が出席し、去年に続いて今年も海潮温泉・海潮荘で開催しました。冒頭、例年通り物故会員への黙祷を行いましたが、この1年は新しい物故者が一人もなく、お互いの健康を皆で喜び合いました。

開宴に先立つ会員スピーチは、還暦記念大会以来21年ぶりに出席した松本堅君（さいたま市）。「最近の農村・農業事情」の武田肇君（大東町）。句集「旅ごころ」自費出版の中林延子さん（加茂町）。「私の【資本論】ノート」自費出版の中村博光君（松江市）。それぞれ味のあるスピーチで今年の「おりべ5期の会」の冒頭を飾ってくれました。

乾杯の発声は、大阪・江戸堀国民学校の同級生で加茂町へ学童疎開した真下考君（神戸市）と渡辺靖子さん



（大阪市）。総合司会は佐々木省二君（松江市）。カラオケと余興司会は舟木老弘君（大東町）。校歌と「星影のワルツ」斉唱の指揮は入江早苗さん（松江市）と荻野晶子さん（松江市）。それぞれが上手に進行してくれて、午後8時過ぎ、松本堅君、山本あさかさん（広島市）の万歳三唱で来年の再会を誓ってお開きとなりました。

その後は小河内方面の「赤川ホテル」の観賞。今年も気象条件に恵まれ、ホテルの乱舞を童心に帰って楽しむ事ができました。

（事務局・加藤文則記）

# 県立大東高校の思い出

高14期 鏑木 捷彦

昭和34年4月入学、加茂町から列車（木次線）で通学しました。1年の時、運動会は雨でグラウンドコンディションは最悪でしたが行われ、デコレーションは立派な二階造り、素晴らしい応援合戦でした。秋には断郊競争（駅伝マラソン）、精神・体力を錬成するもので、学校のグラウンドをスタートして、幡屋・加茂・三刀屋・佐世・阿用から大東町を巡り、学校のグラウンドに到着。足の裏に底豆ができ、途中から友とも離れて孤独との闘い。まさに山あり谷あり、マイペースで前進する人生を教えられました。

試験が終わると、各クラスで選手を選び、ソフトボール・バレーボール・卓球等が行われました。3年と1年の対戦もあり、一喜一憂。2月は3年生を送る予餞会を体育館で企画。白波五人男をしたクラスを今でも思い浮かべます。夏休みは、英語・数学の進学補習、化学の実験もあり、英語クラブには苺田先輩からご指導いただいた思い出もあります。恩師の皆様のこともなつかしい!!

私は病気になって、昭和37年に卒業してまさに人生の勝負がスタートしました。視野も広がり、企業の体験も私にとって貴重な体験。名古屋市にて学問（法律）を真剣に学び、雪深き新潟で高校生と学び、スポーツもし、楽しく充実した教員生活でした（平成15年退職）。新しいカメラ（キャノン）を購入し、新雪・雪山をスキーをしながら、登山しながら撮る趣味ができ、日本百名山を中心に、特に富士山・富士五湖を中心に楽しんでいるところです。

在校生の皆様、どうか高校を卒業してから人生の勝負が始まるということを忘れず、素晴らしい人生・ボランティア、趣味ある人生を築いてください。

大東高校島根代表あと一勝!! 惜しかったですね。強くなって春の選抜甲子園祈っています。



富士川鉄橋



二十曲（忍野）



田貫湖

※鏑木様から本校図書館へ写真集を寄贈していただきました。

# 新会員紹介

高67期 川角 蓮

私は今年の4月から中電工という主に電気設備等を取り扱う会社で働いています。現在は4月から11月まである研修に励んでいます。ここで大まかに中電工がどのような会社なのか説明します。昭和19年に中国電気工事株式会社が設立され、中国5県の有力電気工事会社が統合しました。それから長い年月が経ち、平成2年に社名を「株式会社中電工」に変更、今に至り創立71年を迎えました。

中電工の工事内容は、大きく5つの種別に分けることができます。その中で私が所属しているのは、配電線・引込線工事です。仕事内容は、電柱に昇って電線を張ったり、色々な機器を取り付け家庭に電気を送る作業をしています。現在は研修中ですが、事業所に配属されると一人の作業員として、会社や地域に貢献する為に日々大変な作業をすることになります。また、先月の台風の際には、作業を中断することなく一人一人が実際の台風に備えた作業をやり続けました。

働くようになると不得意なことが出てきて自然と自信をなくしてしまいがちになります。そのような時は考え方を考えてみて、それを自分の個性さらには長所にしていくことが大事だと思います。誰もが不器用なことはあると思いますが、私はあまり悩まず、何か他のことで自信を持つようにしています。研修も残り2ヶ月なので、学校で進路実現に向けて頑張っている後輩の皆さんに負けず私も頑張りたいと思います。



研修中の川角君

高67期 竹内 沙南

大東高校を巣立って半年、私は現在京都にあるデザインの専門学校に通っています。ものづくりを専門に学ぶ学科に所属し、主に革を使った鞆・小物やシルバー等のアクセサリー制作をしています。また、芸大の学生と共にシェアハウスで生活しています(カレーパーティーだらけ)。

新しい環境や人間関係に戸惑いつつも、経験を積んでいくことで自身の考え方や世界に広がりを感じています。

しかし、ふと「ああ、家の縁側」「田舎恋しい」と思うこともあるわけです。散歩して気付くと緑の多い場所にいたりします。愛してやまない和菓子や神社に囲まれ、好きなことを学び恵まれた毎日を過ごしてはいるものの、やはり故郷は恋しいものです。先日実家に帰省した際、涼しさにご飯の美味しさに感嘆を吐いた程。同時に家族や地元の友達と過ごし改めて故郷の温かみに触れることができました。

現在夢が曖昧なため、今は自分のできることに精一杯打ち込んでいきたいです。



クジラのポーチ



竹内さんの作品



# 八雲会の皆様へ

大東高校野球部監督 嶽野 正樹

八雲会員の皆様、いつも応援を頂き有難うございます。私は本校に赴任して5年目になりますが、試合の度に応援席を埋め尽くす人の多さや、地域や卒業生会挙げての御支援にいつも驚いています。このような伝統は、卒業生の皆様の今までのご活躍とご努力あってのものと、心より感謝しています。しっかりと伝統を引き継いでいきたいと思えます。

本校野球部はこの夏、決勝戦で敗退し残念ながら今年も甲子園に辿り着くことができませんでした。ご期待に応えることができず、大変申し訳なく思います。しかし、生徒達は毎日の厳しい練習によくついてきてくれました。もがきながらの日々の成長や、大会でのチーム、学校一丸となった凛々しい戦いぶりは、沢山の感動を与えてくれました。今年も悔しさに終わりましたが、生徒達は全ての経験や出逢いを今後の人生の糧としてくれることと思えます。

ちなみに、現在のチームカラーとして紫色を採り入れています。そこには『雲南の地の「山紫水明」の恵みを頂き、情熱の「赤」と冷静の「青」を込め、紫の色言葉に込められた「使命感」をもって戦う』という意味をこめています。ここ神話の故郷にて代々受け継がれてきた命と出逢いに感謝し、己を磨いていく決意をもって日々の活動に取り組んでいます。生徒達には高校生活という日々の修行や、仲間や母校を背負って戦う誇りをもつことを通し、逞しく生きぬく力や自己犠牲、貢献心などの精神を身に付け、自立した人間となり社会に出てほしいと考えています。

縁あって出逢う生徒達と、この地で粘り強く鍛錬を重ね、必ず全国へ翔く決意です。是非八雲会の皆様におかれましては今後とも母校に対してのご支援、ご声援のほど宜しくお願いいたします。



夏の大会閉会式

# 八雲会

## 平成26年度事業報告・平成27年度事業計画

平成26年度 事業報告	
<b>平成26年</b>	
4月7日(月)	大東支部臨時総会
5月1日(木)	監査会(H25年度決算)
5月2日(金)	第1回校内幹事会 (役割分担、事業報告・計画、決算、 予算、役員会)
5月16日(金)	役員会 (決算、予算、事業、総会、役員改選)
6月28日(土)	関東支部会 (景山会長・奥井校長・門脇幹事)
7月1日(火)	第2回校内幹事会(総会)
7月6日(日)	松江支部会 (景山会長・飯塚教頭・森山幹事長)
7月12日(土)	八雲会総会
7月19日(土)	広島支部会 (景山副会長・奥井校長・門脇幹事)
7月25日(金)	阿用支部会
9月	会報「八雲」第51号発行
11月15日(土)	春殖支部会
11月28日(金)	加茂支部会
11月29日(土)	佐世支部会
12月10日(水)	海潮支部会
<b>平成27年</b>	
2月16日(月)	第3回校内幹事会(入会式)
2月20日(金)	幡屋支部会
3月2日(月)	第67期八雲会入会式
3月8日(日)	久野支部会
3月14日(土)	関西支部会 (金築副会長・奥井校長・成相幹事)

平成27年度 事業計画	
<b>平成27年</b>	
4月27日(月)	第1回校内幹事会 (役割分担)
5月11日(月)	第2回校内幹事会 (会長・副会長出席) (事業報告・計画、決算、予算、役員 会)
5月15日(金)	監査会(H26年度決算)
5月15日(金)	役員会 (決算、予算、事業、総会)
6月2日(火)	大東支部会(成相幹事)
6月20日(土)	関東支部会 (景山副会長・藤原部活動後援会 会長・飯塚教頭)
7月2日(木)	第3回校内幹事会(総会)
7月11日(土)	八雲会総会
7月18日(土)	広島支部会 (安原会長・藤原部活動後援会 会長・今井校長)
7月25日(土)	佐世支部会
7月30日(木)	阿用支部会
9月	会報「八雲」第52号発行
月 日( )	関西支部会
月 日( )	春殖支部会
月 日( )	海潮支部会
月 日( )	加茂支部会
月 日( )	宍道支部会
月 日( )	松江支部会
月 日( )	木次支部会
月 日( )	塩田支部会
月 日( )	幡屋支部会
月 日( )	久野支部会
<b>平成28年</b>	
2月22日(月)	第4回校内幹事会(入会式)
3月1日(火)	第68期八雲会入会式

## 平成26年度 大東高校八雲会一般会計決算書

### 1 収入の部

(単位 円)

費 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
入 会 金	1,107,000	1,081,500	▲ 25,500	年額3,000円×360名=1,080,000 他
繰 越 金	695,358	695,358	0	前年度繰越金
寄 付 金	10,000	786,000	776,000	寄付金 (224名)
雑 収 入	642	95	▲ 547	預金利息
合 計	1,813,000	2,562,953	749,953	

### 2 支出の部

(単位 円)

費 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
総 務 費	630,000	388,230	▲ 241,770	
会 議 費	280,000	119,539	▲ 160,461	役員会、総会費
旅 費	250,000	231,002	▲ 18,998	支部会出席等旅費 (関東、関西、広島、松江)
通 信 費	20,000	28,489	8,489	郵券代等
事 務 費	10,000	9,200	▲ 800	事務用品 (振替払込書、印字代等)
管 理 費	70,000	0	▲ 70,000	会員登録、データ管理
事 業 費	1,143,000	1,058,630	▲ 84,370	
八雲発行費	500,000	509,030	9,030	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	600,000	510,000	▲ 90,000	関東、関西、広島、松江、加茂、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮、支部
入 会 式	43,000	39,600	▲ 3,400	入会記念品 (証書入れ筒)
雑 費	30,000	47,057	17,057	慶弔費、寄付金払込料金 (222名分)
予 備 費	10,000	0	▲ 10,000	
合 計	1,813,000	1,493,917	▲ 319,083	

(収入総額) 2,562,953円

(支出総額) 1,493,917円

(差引残額) 1,069,036円・・・平成27年度へ繰越

#### 特別会計 (積立) 決算書

平成25年度末残高	6,238,573円
平成26年度利息	896円
平成26年度操出金	5,700,000円 (大東高等学校創立百周年記念事業へ)
平成26年度末残高	539,469円

## 平成27年度 大東高校八雲会一般会計予算書

### 1 収入の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
入 会 金	1,023,000	1,107,000	▲ 84,000	年額3,000円×341名=1,023,000
繰 越 金	1,069,036	695,358	373,678	前年度繰越金
寄 付 金	500,000	10,000	490,000	寄付金
雑 収 入	964	642	322	預金利息
合 計	2,593,000	1,813,000	780,000	

### 2 支出の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
総 務 費	770,000	630,000	140,000	
会 議 費	280,000	280,000	0	役員会、総会費
旅 費	300,000	250,000	50,000	支部会出席等旅費
通 信 費	40,000	20,000	20,000	郵券
事 務 費	10,000	10,000	0	事務用品代等
管 理 費	140,000	70,000	70,000	会員登録、データ管理等
事 業 費	1,193,000	1,143,000	50,000	
八雲発行費	550,000	500,000	50,000	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	600,000	600,000	0	関東、関西、広島、松江、宍道、加茂、木次、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮、塩田の各支部
入 会 式	43,000	43,000	0	入会記念品
雑 費	40,000	30,000	10,000	慶弔費等
予 備 費	590,000	10,000	580,000	
合 計	2,593,000	1,813,000	780,000	

#### 特別会計 (積立) 予算書

平成26年度末残高	539,469円
平成27年度利息	31円
平成27年度末残高見込額	539,500円

# お 礼

昨年の会報「八雲」で寄付金のお願いをいたしましたところ、日本の各地にいらっしゃいます卒業生の皆様より寄付を頂戴しました。この紙面を借りまして、心より御礼申し上げます。今年も引き続き、皆様のご理解、ご支援をいただきますようお願いいたします。

## 1. 寄付状況

◇総額：786,000円

◇振込人数：224人

◇地域別寄付状況（人）

雲南市	59	出雲市	30	松江市	29	広島県	12
岡山県	7	鳥取県	1	関西地区	38	関東地区	25
中京地区	10	四国	1	九州	3	北海道	2
雲南市・出雲市・松江市以外の県内							

◇口別寄付状況（人・1口1,000円）

1口	48	2口	33	3口	74	4口	2
5口	45	7口	1	10口	21		

### 振込方法

（百周年寄付金用の振替用紙とお間違えにならないようお願いいたします。）

◆寄付金額：一口 1,000円

専用振込用紙を年に一度お送りしている会報誌『八雲』と一緒にお届けします。  
一口1,000円から受け付けさせていただきます。

◆振込先：ゆうちょ銀行（振込手数料はかかりません）

口座記号番号 01390-5-103127

口座名称 八雲会

※他行等からの上記口座へのお振込の場合は下記内容をご指定ください。振込手数料は差し引いてご入金ください。

店名（店番） 一三九（イチサンキュウ）店（139）

預金種目 当座

口座番号 0103127

◆その他

- ・卒業生のお名前で（ご家族の方等が振り込まれる場合も）お振り込みください。
- ・通信欄に卒業期、または卒業年度をお書きください。
- ・振込期限はありません。（随時受付をしています）

## 2. 寄付者芳名録 (入金日順、敬称略)

景山 純孝	鍛治 咲子	西村 隆正	田中 力	狩野 精夫
藤原 義正	水津千賀子	島田富美子	森脇 和子	吉広 謙
梅瀬 絹子	難波 陽子	陶山 久子	佐藤 清	森山 秀樹
大村 誠	藤間 瀬子	佐藤 行夫	基常 幸子	中西 敦子
渡部 幸男	勝部美保子	宮廻 博	大井川千恵子	高田 節子
岡田 靖男	黒角 好子	藤原 勇吉	渡部 健司	福岡久仁子
今岡 光範	吉木 稔朗	福岡 絹子	豊嶋 洋子	芦田 道昭
内田 礼樹	斉藤 鈴子	永瀬 悟	藤井 広満	多久和房雄・祐子
長尾 広志	森山 匡子	石田 登住	和多田禎哉・共倅	川島 修一
伊藤 恭子	神庭 勇	細木 弘道	村田 満枝	森山るみ子
舟木 俊夫	佐藤 彌平	磯部 賢次	榊原 寛子	田中 英光
渡部 勲	簾 洋一	佐藤 忠吉	小室貴久枝	稲田 幸夫
村上紀久子	高木 俊郎	佐藤 孝子	森 龍治	岩田 稔
磯島 孝	西村 俊子	高橋 計也	原 正義	森脇 誠夫
上代 雅躬	野竹 裕子	加納 昭	永瀬 久子	瀧 清
園山真知子	土井 恵子	郷原 保男	永瀬 哲男	佐藤 博芳
藤井 和子	高田 美子	松原 正江	石川 辰子	中島 俊光
土井 進	菅沢 文子	常松 繁	持田 玲子	川島 健治
森 修司	只野 富代	橋本 幾子	石飛 一成	山中 茂樹
安井多喜恵	内藤 友子	萬代嘉寿子	山崎 雪江	渡部 正美
伊元 一枝	福岡 昭光	矢野 操子	錦織 涿郎	神庭 薫
三上 紘道	鏝木 捷彦	門脇 文雄	安部 幸治	藤原 君子
桑原美知枝	加藤 藤子	松井美奈子	森山 拡	錦織 一夫
長谷川 亨	俵 和子	杉原 弥生	木村 昇一	別所 俊子
伊藤 啓子	井原カクエ	青戸 博子	広木 益夫	加藤ゆかり
柳原美和子	星野 進	佐藤 勝江	難波 幸夫	佐藤 昌明
吉岡 祥治	清水孝綱・恵子	佐藤 年成	高橋 敬二	安達 茂
加納 稔	坂野 遂子	小山 義弘	青木 愛治	岩田美恵子
佐藤 茂夫	松浦 英雄	宮廻 文子	長廻 茂子	安部 茂
内田 敦子	兼重 武子	成相 智志	永瀬 清	山本 幸江
土谷 武盛	坂上ひとみ	西村 武	板持 久枝	石原 朝登
江草まゆみ	岡田 邦雄	多根 幹夫	原 喜弘	宮澤 静子
嘉本 静穂	吾郷 義治	三島 修	安原 重隆	太田多美子
打海 寿子	佐々木 陽	佐藤 通恵	恩田 仁志	狩野 恵子
森脇 勲	藤田マスミ	山本佐起子	西 宏規	狩野 泰秀
足立 弥生	渡部 嘉春	福田 敬乃	鳥谷 尚子	九鬼 敏恵
岩佐 道子	酒井 恭子	宮廻 早苗	景山美代子	鳥谷美保子
高島 節郎	柳井津美代子	雑賀 一美	山本 栄吉	舟木 性子
黒田 倫行	石田 敬子	石原 巖	安原知加子	黒田恵美子
佐藤 和紀	景山 剛	田中 臣子	細木 和幸	土江 春野
内田 邦昭	内田 好治	勝田 栄	石原由美子	蘆田 信夫
勝田 純子	白名 弘子	杉原ヤシ子	糸川 栄一	森山 武史
狩野 彰彦	落合 竜次	金築 敏子	高木 正人	野々村 昇
永瀬 春雄	岩崎 庸子	渡部 美佳	野々村 正	川岡 祐子
陸浦 是子	景山みどり	塔間 次子	佐藤 隆司	錦織 武久
武田 文夫	高橋 博子	西 洋子	岡田 伸	三上 紘道

# 大東高校創立百周年

題字 加本智昭（本校書道講師）

大東高校は平成30年に創立百周年を迎えます。

同じ学舎で青春を謳歌し、今は日本各所で暮らしておられる卒業生の皆様、大東高校は郡立農業学校から数えて百年になろうとしております。日々の暮らしに奮励努力しておられる方々、子育てを終え一息ついておられる方々、今なお真理の道を求めておられる方々、皆様一人一人が大東高校の歴史を作ってくれました。

この節目の年にあたり、創立百周年記念事業実行委員会（委員長 安原八雲会会長）は諸々協議を重ね創立百周年事業を具体的に進めようとしています。百年の歴史を祝し、ますますの発展を願い、新たなる大瀛に棹ささんとする母校のため、八雲会会員の皆様からのご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。



初代矢田鶴之助校長

## —資料を探しています—

百周年記念誌編集部では、以下の資料を探しています。写真等ありましたらご協力いただきますようお願いいたします。

- 大原郡立農業学校時代のもの
- 島根県立大東農学校時代のもの
- 島根県立大東高等女学校のもの

送付先：699-1241

雲南市大東町大東637

大東高等学校内 百周年記念誌編集部

問合せ先：電話（0854）43-2511〔担当：森山〕



校舎遠景（農学校の頃）



実習風景（農学校）

## 大東高校マスコットキャラクター 「おりべ」ちゃん



「おりべ」ちゃんのリボンは大東の「D」。黒髪のポニーテールは「清楚」と「活発」を表し、手に持つ花は「学びの花」。衣装は「かった神社」をイメージして巫女さん風に。

「おりべ」は大東高校が立っている地名「織部」から。地域の皆様にも浸透していて覚えやすい名前です。大東高校校歌2番にも「夕影高く秋深き 織部の山に風かよふ」と織部の名前が出てきます。布を織るように人と人をつなぎ、また将来の夢を織り込んでいくという思いが込められています。

作／竹内沙南さん（高67期）  
名付け親／西村聖君（高67期）

## 編集後記

会報「八雲」の発行に際しましては、ご多用の中、今年も多くの皆様のご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

近年大東の街の様子も変わりました。長らくお帰りでない皆様、帰られましたら大東高校にも是非お立ち寄りください。

## 大東高校内八雲会本部事務局

島根県立大東高等学校  
〒699-1251 島根県雲南市大東町大東637  
TEL (0854)43-2511・FAX (0854)43-2512  
E-mail: daito-hs@edu.pref.shimane.jp  
ホームページ <http://www.daito-h.ed.jp/>

\*\*\*大東高校公式Facebookもご覧ください\*\*\*